

令和6年度 京都市立柊野小学校グランドデザイン

めざす学校像

- ・子どもが通いたい
- ・保護者が通わせたい
- ・子どもの居場所があり、よさが発揮できる
- ・教職員の一人一人のよさを生かせる

〈教育理念〉子どもを中心に据え、学校・保護者・地域が一体となり、すべての子どもが安心して学ぶことができる

めざす教職員像

- ・自ら学び続ける
- ・豊かな人間性がある
- ・協調性がある
- ・率先垂範
- ・信頼される
- ・凡事徹底

学校教育目標 ともに学び ともに育つ

大切にしたい3つのキーワード「あいさつ、おもいやり、えがお」

人の話を聴き、自分の思いや考えを伝える子

めざす子ども像

人、もの、時間を大切にする子

最後まであきらめずにやりとげる子

『継続と徹底』

「確かな学力」の育成

- ・学びの集団づくり
- ・基礎基本に関わる知識技能の習得
- ・「かけ橋プログラム」幼保小連携
- ・主体的・対話的で深い学び
- ・子どもの特性に応じたきめ細かな支援

育成したい資質・能力…人間関係形成力

重点指導方針

「豊かな心」の育成

- ・「考え、議論する」道徳科授業の推進
- ・異年齢集団活動
- ・発達支持的生徒指導の推進と規範意識の育成
- ・多様性を理解する教育の推進
- ・支え合い高め合う集団づくり

『チーム学校』

「健やかな体」の育成

- ・運動能力及び体力の向上
- ・心身の健康の保持増進
- ・自己管理能力の向上
- ・危機管理意識の高揚
- ・食に関する教育の推進

具体的な重点取組

生徒指導の充実

- ・「共感的な人間関係の育成」の視点を重視し、自己指導能力の育成、発達支持生徒指導の推進
- ・いじめや不登校の未然防止、問題行動の早期発見、対応
- ・あいさつ、学習規律の徹底
- ・生徒指導と教育相談が一体となったチーム支援

学力向上の取組

- ・「わかる」「できる」授業実践
- ・支持的風土に支えられた学級・学年集団づくり
- ・「全国学力・学習状況調査」「ジョイントプログラム」の結果分析を踏まえた授業改善
- ・「共感的な人間関係」を位置づけた授業実践
- ・ICTを活用した授業改善、個別最適な学びと協働的な学びの実現
- ・学校図書館の活用と読書活動の充実
- ・家庭学習の定着を図り、自学自習の習慣化
- ・生き方探究教育の充実を図り、自己肯定感を高める。
- ・スターとカリキュラムを意識した幼保小の接続

人権教育の取組の推進

- ・児童の命を守る
- ・一人一人の人権が尊重され、居場所のある、つながりのある集団づくり
- ・たてわり活動の充実
- ・多様性を理解する姿勢

総合育成支援教育の充実

- ・授業、学校全体のユニバーサルデザイン化
- ・児童の特性を全教職員が理解する
- ・支援教育の理解と認識を図る
- ・家庭、地域、関係機関との連携

健康安全教育の充実

- ・健康的な生活習慣の確立と食に関する指導の充実
- ・体力、運動能力の向上
- ・安全確保に関わる環境整備と安全教育の充実

道徳教育の充実

- ・道徳科の授業の工夫、改善
- ・道徳科を軸としたカリマネの推進
- ・豊かな人間性を育み、共に学び合い、支え合い、心を耕す

英語教育の充実

- ・デジタル教科書の有効活用
- ・Can-Doリストの作成と活用
- ・評価のあり方の研究

生活しやすい教育環境づくり

- ・児童の心身の安定を図る人的・物的環境づくり
- ・教職員の心身の健康保持と教育の質の向上
- ・ユニバーサルデザインにつながる環境整備

地域に根ざした教育活動を展開し、地域に信頼され、地域とともに歩む学校

・地域の人材活用や人材発掘

・児童の体験活動の充実

協働的な連携